

ぼくたちに

ロボコン

ROBOT CONTEST

足りない部品はなんだろう。

ロボコン・コンテスト優勝をめざす
落ちこぼれ4人組
青春はじめてのロボットコンテスト不能だ



監督・脚本: 古厩 智之

長澤 まさみ 小栗 旬 伊藤 淳史 塚本 高史 / うじき つよし 荒川 良々 平泉 成 吉田 日出子 / 須藤 理彩 鈴木 一真

製作: 富山 省吾 製作総指揮: 植田 文郎 / 古川 一博 / 小松 賢志 チーフプロデューサー: 鈴木 律子 プロデューサー: 宮川 洋紀 / 堀口 慎 / 前田 光治
音楽: バシフィック231 エグゼクティブ・テーマ: 「Saturday Night」 Wack Wack Rhythm Band / こすえ 鈴 サントラ監: ユニバーサル ミュージック / アイランド
撮影: 清久 葵延 美術: 金勝 浩一 録音: 斉藤 禎一 照明: 望月 英樹 編集: 三條 知生 モンスターダン: 田中 忠雄 助監督: 清水 俊文

「ロボコン」製作委員会作品 (東宝 / 小学館 / TOKYO FM / 日販) 製作: 東宝映画
企画: ゼネラル・エンタテインメント 企画協力: 高等専門学校協会連合会 / NHK 製作協力: NHKエンタープライズ21 総経銷: 東宝

robocon-movie.com

©2003「ロボコン」製作委員会

理数系の青春?!

チームワーク最低の落ちこぼれ4人組が、「ロボコン」=ロボットコンテストに挑む?!

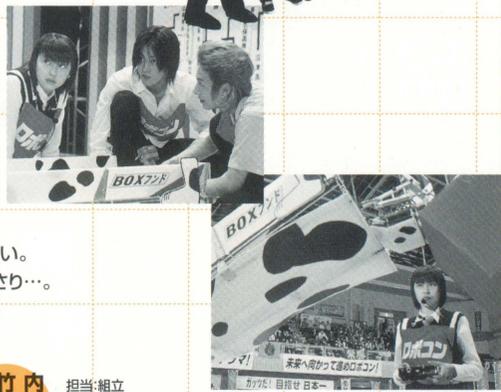
Introduction “ロボコン”—それは、理数系の甲子園とも称される、クールに熱い闘い。

学生たちが工具片手に作業服でロボットを作る姿は、ちょっぴり地味かもしれないけど、日本の未来を担う若き学生くんたちが、愛情たっぷりに作ったロボットたちをフィールド内でバトルさせる姿は、スポーツ系もびっくりのカッコよさなのです。そんな“ロボコン”を題材に、なんとも清々しい青春エンタテインメント「ロボコン」が誕生しました!主人公の落ちこぼれロボット部員には、長澤まさみ、小栗旬、伊藤淳史、塚本高史という若手実力派が勢揃い。それぞれ心の奥に情熱はあるけれど、本音を上手く伝えられない不器用な部員4人の姿は、ときにおかしく、ときにせつなく、そして胸を熱くさせます。

また、監督は「まぶだち」でロッテルダム映画祭タイガーアワード(グランプリ)を受賞し、今もとても注目を集める新鋭・古厩智之。

日本映画の未来を担うフレッシュなスタッフ&キャストで、今年最高の青春ストーリーをお届けします!

Story “めんどくさい”が口癖の里美(長澤まさみ)は、授業の課題で出た手作りロボットも市販のキットに顔を描くだけの有様。1ヶ月の居残り授業確実な事態だったが、担任の図師(鈴木一真)から、これを免れる条件を出された。「ロボット部に入って、ロボコンに出場するんだ!」楽勝とばかりにホイホイ話に乗った里美だったが、案内されたロボット部はやる気のない部員(塚本高史)のせいで大会出場人数の3人を満たせず、自分は頭数合わせだったと気がきトホホな気分。しかも残る部員2人(小栗旬、伊藤淳史)も変わり者ときている。そんな状況の中、渋々出場した地方大会だったが、試合には当然の如く敗れたものの、マシンのユニークさを買われて、なんと全国大会出場の切符を手にしてしまう! ぶつうは喜ぶべきところだが、チームワーク最低の即席ロボット部員たちは、困惑を隠しきれない。しかし図師の「このままじゃ、おまえら恥かだけかもな」の一言がダメ部員たちの胸につきささり…。友情、根性、努力の似合わない4人の、熱い挑戦がはじまった!



担当:設計 航一
仲間意識ゼロの
天才設計者。

四谷 担当:作戦
部長なのに統率力ゼロの
ロボコンおたく。

竹内 担当:組立
腕はピカイチだが、
忍耐力ゼロの技術者。



落ちこぼれ?
これが第2ロボット部だ!!

●きっかけは“高専ロボコン”

全国に62校ある高等専門学校(=高専)の学生たちが、出題されるテーマに従って一定条件を満たすロボットを開発し、フィールド内で熱いバトルを繰り広げる「高専ロボコン」。1988年以來今年で16年目を迎える伝統ある大会です。古厩監督は、この大会でロボットに夢を託す魅力的な学生たちに触発され、映画「ロボコン」をオリジナルストーリーとして誕生させました。ちなみに、200人以上の高専学生そして先生、ロボットたちが映画に出演及び協力し、大会シーンを大いに盛り上げてくれています!



担当:操縦 里美
生来の勝気は影を潜め、ちかごろめんどくさいが口癖のやる気ゼロ娘。

お前ら、冷やかしか?

エリート
第1ロボット部
部長



9月13日(土)より全国東宝洋画系ロードショー!

前売鑑賞券発売中! 一般/1,300円

日比谷・東宝映画街
シャンテシネ
03 (3591) 1511
入替制